

音鑑・冬の勉強会 2020

「よりよい授業を求めて」

2020年12月14日～28日
インターネット講習（オンデマンド動画配信）

毎年ご好評いただいている「音鑑・冬の勉強会」を、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターネット講習（オンデマンド動画配信）で行いました。

- プログラム：① 講演「小学校・中学校音楽科における『指導と評価の一体化』」
② 講演「ベートーヴェン生誕250年——楽譜に込めた斬新な技、新機軸」
③ 講演「くらしと祈りと芸能——家を廻る民俗芸能から学んだこと——」
④ 助成研究発表「主体的・協働的な学びを促す音楽鑑賞指導の研究
——学びのデザインの視点に基づく授業づくりと実践を通して——」
⑤ 講演「よい授業とは何か」
⑥ 分科会ワークショップ「音楽のよさや面白さを味わう鑑賞指導
～新学習指導要領と新学習評価をふまえて(小学校・中学校)」

講師：藤沢 章彦（元国立音楽大学教授、当財団理事）全体講師／河合 紳和（文部科学省教科調査官）①

奥田 佳道（音楽評論家）②／神野 知恵（国立民族学博物館機関研究員）③

川田 龍哉（早稲田大学教師教育研究所招聘研究員）⑤

発表：山本 幸正（音楽鑑賞教育実践研究会代表、元国立音楽大学教授）④

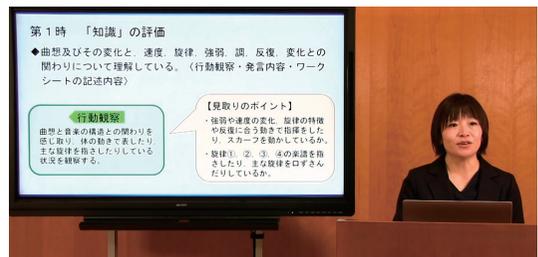
ワークショップ：研究委員 ⑥ 館 雅之（神奈川県横浜市立太尾小学校校長）、井上 奈々（東京都荒川区立尾久第六小学校主任教諭）、水谷 愛（埼玉県川越市立鯨井中学校教諭）

●講演「よい授業とは何か」



▲「音鑑・冬の勉強会2019」で、藤沢章彦理事が紹介しました書籍『よい授業とは何か』の著者の川田先生に、「授業とは」「教育とは」「子どもとは」といった視点からお話いただきました。

●分科会ワークショップ「音楽のよさや面白さを味わう鑑賞指導～新学習指導要領と新学習評価をふまえて」



▲小・中それぞれの分科会で『ハンガリー舞曲第5番』を教材に、教材研究、題材構成、学習評価について演習を行いました。

【アンケートより】

- ・例年の勉強会のように会場を受講すると、聞きそびれてしまったり、わからなかったりすることもあるが、何度か視聴することで、先生方の話を納得して聞くことができた。
- ・国研から出ています『参考資料』を熟読せねば…と思いつつ、日々の業務に追われていましたが、分かりやすく要点をまとめてくださっていたので良かったです。
- ・民俗芸能についての見方・考え方が大きく変わりました。初めて知ることばかりでとても勉強になりました。貴重な映像や写真がすばらしかったです。芸能のありがたさや待ち遠しい気持ちが伝わってくるようでした。